

大雪と低温に関する農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

平成26年1月9日16時05分、「大雪と低温に関する東北地方気象情報第2号（仙台管区气象台）」が発表されました。

また、平成26年1月7日14時30分には、仙台管区气象台より「低温と大雪に関する異常天候早期警戒情報（東北地方）」も発表されていますので、今後の気象情報に留意し、農作物や施設等の管理には十分注意しましょう。

大雪と低温に関する東北地方気象情報 第2号

平成26年1月9日16時05分 仙台管区气象台発表

（見出し）

東北地方では、11日にかけて上空に強い寒気が入るため大雪となる所がある見込みです。また、14日にかけて気温の低い状態が続くでしょう。大雪による交通障害や水道管の凍結などに注意してください。

（本文）

【気象状況】

東北地方の上空約5000メートルには、11日にかけて氷点下3.6度以下の寒気が入るでしょう。このため、日本海側を中心に大雪となり、気温の低くなる所がある見込みです。

【雪】

<地域・時期・量的予想>

10日18時にかけて予想される24時間降雪量は、多い所で

日本海側 山沿い 50センチ 平地 30センチ。

その後も、降雪量はさらに増える見込みです。

また、14日にかけて気温の低い状態が続くでしょう。

<防災事項>

大雪による交通障害や、低温による水道管の凍結などに注意してください。

また、積雪の多い傾斜地では、なだれにも注意が必要です。

【補足事項】

今後、地元气象台が発表する警報や注意報、気象情報に留意してください。

次の、「大雪と低温に関する東北地方気象情報」は10日05時30分頃に発表する予定です。

- ・施設の点検や雪下ろし等の管理を徹底し、被害の未然防止に努めましょう。
- ・除雪などの作業は、十分に安全を確認して行いましょう。

1 園芸施設

(1) 低温対策

農作物が生育遅延や低温障害等の影響を受けないよう、加温等により施設内の適正な温度管理に努めましょう。また、燃料残量を確認するとともに暖房機器や電源、配線等についても正常に機能するか事前に確認しましょう。

(2) 施設の補強

被覆資材の隙間やゆるみがないように点検し、杭やハウスバンドによる押さえを強化しましょう。

また、パイプハウスは、降雪前に中柱や筋かいで補強しましょう。

(3) 雪下ろし

屋根や側面に積雪がある場合は、安全を確認して速やかに除雪を行いましょう。

除雪を行う場合は、ハウスの両サイドの雪をある程度取り除いてから上部にたまった雪を下ろし、再度除雪するようにします。なお、ハウスの片側だけ除雪すると倒壊するおそれがあるので、両側から均等に除雪するようにします。

特に、古い被覆資材は滑りが悪いので、優先的に除雪してください。なお、短時間に多量の降雪があり、雪下ろしが間に合わない場合は、被覆資材を切るなどして施設の倒壊を防ぎます。

なお、暖房機が設置されている場合は、内部カーテンを（二重カーテン）を開放した上で、可能な範囲で室温を高めることで屋根雪を滑落させるようにします。

これらの作業にあたっては、安全を十分に確保しながら行ってください。

また、できるだけ1人での作業は避け、相互に安全確認をしながらグループで作業を行ってください。

(4) 事後の施設点検と補修

降雪後はハウスや被覆資材各部の損傷、ゆるみ、たるみ等を点検し、必要に応じて補修を行います。特に、主管をつなぐジョイントや専用金具がゆるんでいる場合が多いので、確認し補修します。

※ 参考資料「パイプハウスの雪害防止対策（暫定版）平成23年3月」

県農業振興課のホームページに掲載していますので、以下のURLよりご覧ください。

http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyuukaihatu/gijyutsufukyu/04toku_joho/setugai_taisaku_h230311.pdf

2 果 樹

(1) 樹体被害等の防止対策

樹体や果樹棚への着雪が多い場合は、速やかに雪下ろしを行きましょう。

また、主枝、亜主枝などには支柱を添え、折損などの未然防止に万全を期してください。

りんごのわい化栽培等では、主幹部が木支柱やトレリスへしっかり固定されているか確認しましょう。

枝が雪に埋没している場合は、雪の沈降が進まないうちに掘り出します。雪が固まってから掘り出す場合は、周囲に切込みを入れて溝を作り沈降力を軽減してから行います。

(2) 樹体被害等を受けた場合の対策

主幹部が裂開した場合には、できるだけ早急に支柱を添えカスガイやボルトで早めに止めて接合します。また、大枝が折損した場合は、折れた部分からやや基部の健全な部分まで切り戻します。さらに、傷口から病害などが侵入しないように、傷口の保護に努めます。

果樹棚のワイヤー等が破損した場合は、速やかに修復や補強を実施しましょう。

3 畜舎及び施設

(1) 事前対策

畜舎、飼料庫、飼料タンク、堆肥舎等の損壊及び風雪の吹き込みを未然に防止するため、屋根、扉、窓、外壁等の破損や亀裂等の有無を確認し、必ず補修等の応急措置を行きましょう。

特に、開放された飼料の保管場所では、乾草や稲わら等をシートで覆うなどにより、風雪がかからないようにしてください。

堆肥舎への風雪の吹き込みも併せて防止してください。

あらかじめ停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電機等による搾乳等ができるよう対策を行きましょう。

低温時には、水道管、バーンクリーナー、搾乳機器の凍結が心配されるため、凍結防止対策を適切に行ってください。

(2) 除雪

積雪による畜舎等の倒壊を防止するため、積雪の状況に応じ畜舎軒下等の除雪を行います。

特に、ハウス式の畜舎や堆肥処理施設等の簡易施設は除雪作業をこまめに実施し、積雪による倒壊等の被害を防止してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL024(521)7339

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください)

URL：http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224

モバイル県庁：福島モバイル県庁→お知らせ・各種情報→農業技術情報

(右欄に掲載のQRコードよりご覧ください)

ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング
情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>



モバイル版 QRコード